

# 健康増進編

## 1 健康手帳の交付

市区町村における健康手帳交付数は1,001,568人で、男387,230人、女572,617人となっている(表1)。

表1 健康手帳の交付状況

(単位:人) 平成26(2014)年度

	総数	40～74歳	75歳以上
総数	1 001 568	815 316	154 745
男	387 230	317 961	65 079
女	572 617	477 964	88 153

注:年齢階級別及び性別の計数が不詳の市区町村があるため、総数と年齢階級別及び性別の計が一致しない。

## 2 健康診査

市区町村が実施した健康診査の受診者数は109,572人で、男51,285人、女58,287人となっている(表2)。

検査結果の状況をみると、「糖尿病個別健康教育対象者(ア)」34,744人、「高血圧症個別健康教育対象者(イ)」31,430人となっている(表3)。

表2 性・年齢階級別にみた健康診査における受診者の状況

(単位:人) 平成26(2014)年度

	受診者数	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
総数	109 572	13 105	15 907	12 571	16 851	18 638	32 500
男	51 285	5 691	8 827	7 424	9 234	8 576	11 533
女	58 287	7 414	7 080	5 147	7 617	10 062	20 967

注:1 老人保健法に基づき市区町村が実施していた基本健康診査は、平成20年度より高齢者の医療の確保に関する法律に基づき保険者が実施する特定健康診査と、健康増進法に基づき市区町村が実施する健康診査に分かれた。本報告では市区町村が実施した健康診査について計上している。  
2 健康診査の受診者数は、「健康診査」、「訪問健康診査」及び「介護家族訪問健康診査」の受診者数の合計である。

表3 性別にみた健康診査における検査結果の状況

(単位:人) 平成26(2014)年度

	受診者数	検査結果								
		血圧		脂質異常		糖尿病		貧血 (疑いを含む。)	肝疾患 (疑いを含む。)	腎機能障害 (疑いを含む。)
		高血圧症 個別健康教育 対象者(ア)	高血圧症 個別健康教育 対象者(イ)	脂質異常症 個別健康教育 対象者(ア)	脂質異常症 個別健康教育 対象者(イ)	糖尿病 個別健康教育 対象者(ア)	糖尿病 個別健康教育 対象者(イ)			
総数	109 572	12 264	31 430	21 922	30 105	34 744	12 718	13 657	17 594	16 378
受診者数に 占める割合(%)	100.0	11.2	28.7	20.0	27.5	31.7	11.6	12.5	16.1	14.9
男	51 285	5 805	15 882	10 740	13 502	15 773	7 043	6 465	10 520	7 833
受診者数に 占める割合(%)	100.0	11.3	31.0	20.9	26.3	30.8	13.7	12.6	20.5	15.3
女	58 287	6 459	15 548	11 182	16 603	18 971	5 675	7 192	7 074	8 545
受診者数に 占める割合(%)	100.0	11.1	26.7	19.2	28.5	32.5	9.7	12.3	12.1	14.7

注:「個別健康教育対象者(ア)」は、特定健康診査及び健康増進法に基づく健康診査受診者のうち、検査結果から生活習慣病の発症予防等のため指導が必要な者で、平成26年度中に教育を開始した者をいい、「個別健康教育対象者(イ)」は、特定健康診査及び健康増進法に基づく健康診査受診者のうち、検査結果から生活習慣病の重症化予防等のため個別健康教育による指導が有効であると医師が認めた者で平成26年度中に教育を開始した者をいう。

### 3 歯周疾患検診・骨粗鬆症検診

市区町村が実施した歯周疾患検診の受診者数は 291,484 人、骨粗鬆症検診の受診者数は 313,978 人となっている。

受診者数に占める各指導区分の割合をみると、「要精検者」は歯周疾患検診では 80.6 %、骨粗鬆症検診 14.7 %となっている。(表 4)

市区町村における平成 26 年度の検診実施率は、歯周疾患検診 60.4 %、骨粗鬆症検診 62.4 %となっている(表 5)。

表 4 歯周疾患検診・骨粗鬆症検診の実施状況

(単位:人)

平成 26(2014)年度

		受診者数 <sup>1)</sup>	指導区分					
			要精検者	受診者数に占める割合(%)	要指導者	受診者数に占める割合(%)	異常認めず	受診者数に占める割合(%)
歯周疾患検診	総数	291 484	235 018	80.6	27 407	9.4	27 422	9.4
	40 歳	82 459	64 847	78.6	8 624	10.5	8 431	10.2
	50 歳	64 062	51 967	81.1	5 866	9.2	5 840	9.1
	60 歳	65 980	53 904	81.7	5 893	8.9	5 856	8.9
	70 歳	78 983	64 300	81.4	7 024	8.9	7 295	9.2
骨粗鬆症検診 <sup>2)</sup>	総数	313 978	46 193	14.7	88 295	28.1	179 348	57.1
	40 歳	35 919	777	2.2	3 893	10.8	31 240	87.0
	45 歳	24 381	618	2.5	2 702	11.1	21 053	86.4
	50 歳	37 078	1 124	3.0	4 726	12.7	31 221	84.2
	55 歳	33 480	2 738	8.2	8 184	24.4	22 541	67.3
	60 歳	50 430	8 139	16.1	17 603	34.9	24 642	48.9
	65 歳	73 526	16 002	21.8	28 490	38.7	28 996	39.4
70 歳	59 164	16 795	28.4	22 697	38.4	19 655	33.2	

注: 1) 指導区分の計数が不詳の市区町村があるため、受診者数と指導区分の計が一致しない。

2) 「骨粗鬆症検診」の対象者は女性である。

表 5 歯周疾患検診・骨粗鬆症検診の実施市区町村数及び検診実施率の年次推移

	歯周疾患検診					骨粗鬆症検診				
	平成22年度 <sup>1)</sup>	23年度	24年度	25年度	26年度	平成22年度 <sup>1)</sup>	23年度	24年度	25年度	26年度
	(2010)	('11)	('12)	('13)	('14)	(2010)	('11)	('12)	('13)	('14)
実施市区町村数	921	959	981	1 018	1 049	1 034	1 062	1 063	1 068	1 084
検診実施率(%) <sup>2)</sup>	54.2	55.2	56.4	58.6	60.4	60.8	61.1	61.2	61.4	62.4
全国市区町村数	1 700	1 738	1 738	1 738	1 737	1 700	1 738	1 738	1 738	1 737

注: 1) 平成 22 年度は、東日本大震災の影響により、岩手県の一部の市町村(釜石市、大槌町、宮古市、陸前高田市)、宮城県のうち仙台市以外の市町村、福島県の一部の市町村(南相馬市、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、飯館村、会津若松市)が含まれていない。

2) 検診実施率 = (実施市区町村数 / 全国市区町村数) × 100

## 4 健康教育

市区町村が実施した集団健康教育の開催回数は147,296回、参加延人員は2,875,775人となっている。

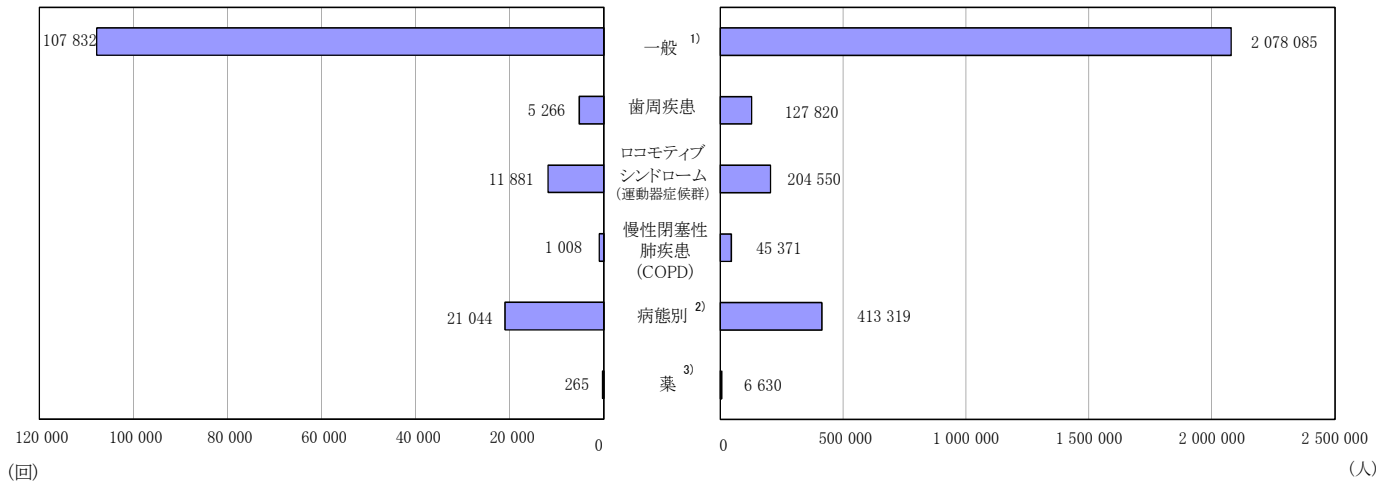
内容別にみると、開催回数、参加延人員ともに、「一般」が最も多くなっている。(図1)

図1 集団健康教育の実施状況

平成26(2014)年度

開催回数(147,296回)

参加延人員(2,875,775人)



注: 1) 「一般」とは、生活習慣病の予防のための日常生活上の心得、健康増進の方法、食生活の在り方等健康に必要な事項の教育をいう。

2) 「病態別」とは、肥満、高血圧、心臓病等と個人の生活習慣との関係及び健康的な生活習慣の形成についての教育をいう。

3) 「薬」とは、薬の保管、適正な服用方法等に関する留意事項、薬の作用・副作用の発現に関する知識の教育をいう。

## 5 健康相談

平成26年度に市区町村が実施した健康相談の被指導延人員は1,390,990人であり、そのうち重点健康相談は504,815人となっている。

重点健康相談を内容別にみると、「病態別」が171,035人と最も多くなっている。(表6)

表6 健康相談の年次推移

(単位:人)

		被指導延人員				
		平成22年度 <sup>1)</sup> (2010)	23年度 ( '11)	24年度 ( '12)	25年度 ( '13)	26年度 ( '14)
重点健康相談	総数	1,537,679	1,540,898	1,443,985	1,431,696	1,390,990
	総数	532,941	548,046	532,783	506,553	504,815
	高血圧	85,446	100,251	84,289	83,169	80,841
	脂質異常症	24,377	24,386	24,756	25,832	24,897
	糖尿病	30,705	34,451	36,412	33,300	28,549
	菌周疾患	84,146	81,681	85,505	82,011	80,584
	骨粗鬆症	104,002	108,438	104,947	99,324	100,515
	女性の健康	27,756	24,515	19,999	16,803	18,394
病態別 <sup>2)</sup>	176,509	174,324	176,875	166,114	171,035	
総合健康相談		1,004,738	992,852	911,202	925,143	886,175

注: 1) 平成22年度は、東日本大震災の影響により、岩手県の一部の市町村(釜石市、大槌町、宮古市、陸前高田市)、宮城県のうち仙台市以外の市町村、福島県の一部の市町村(南相馬市、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、飯館村、会津若松市)が含まれていない。

2) 「病態別」とは、重点健康相談の「高血圧」から「女性の健康」を除く、肥満、心臓病等の病態別に、個人の食生活その他の生活習慣を勧奨して行う相談指導等をいう。

## 6 機能訓練

平成 26 年度に市区町村が実施した機能訓練の実施状況は、実施施設数 297 か所、被指導延人員 44,021 人となっている（表 7）。

表 7 機能訓練の年次推移

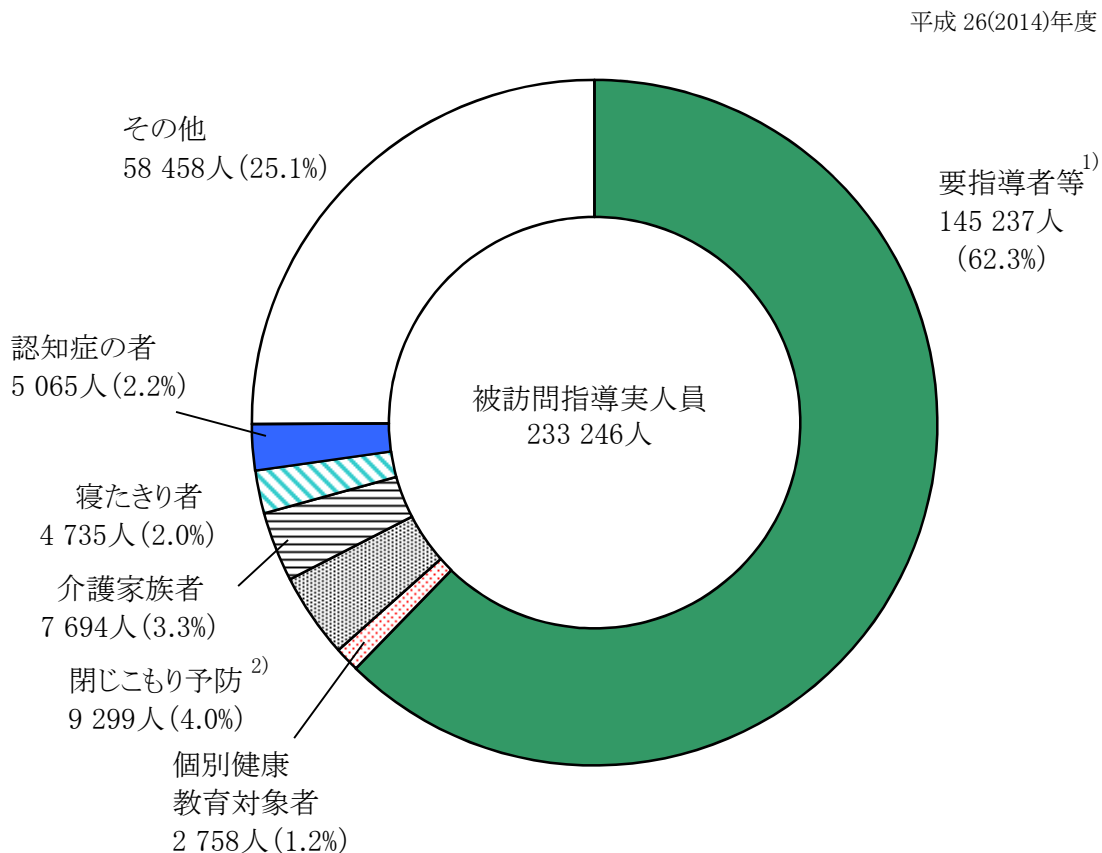
	平成22年度 <sup>1)</sup> (2010)	23年度 ( '11)	24年度 ( '12)	25年度 ( '13)	26年度 ( '14)
実施施設数 (か所)	459	369	341	391	297
実施回数 (回)	13 647	12 582	11 473	10 747	8 544
被指導実人員 (人)	4 431	3 755	3 980	3 859	4 025
被指導延人員 (人)	70 688	54 581	54 094	48 285	44 021

注:1)平成 22 年度は、東日本大震災の影響により、岩手県の一部の市町村（釜石市、大槌町、宮古市、陸前高田市）、宮城県のうち仙台市以外の市町村、福島県の一部の市町村（南相馬市、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、飯館村、会津若松市）が含まれていない。

## 7 訪問指導

市区町村が実施した訪問指導の被訪問指導実人員は 233,246 人となっており、訪問指導の対象者別にみると、「要指導者等」が 145,237 人（62.3 %）と最も多くなっている（図 2）。

図 2 訪問指導の対象者別にみた被訪問指導実人員



注：1)「要指導者等」とは、生活習慣病改善のための指導が必要な者をいう。

2)「閉じこもり予防」とは、介護予防の観点から支援が必要な者で、健康管理上訪問指導が必要と認められた者をいう。

## 8 がん検診

### (1) がん検診の受診者数及び受診率

平成 26 年度に市区町村が実施したがん検診の受診率は、「胃がん」9.3%、「肺がん」16.1%、「大腸がん」19.2%、「子宮頸がん」32.0%、「乳がん」26.1%となっている(表 8)。

表 8 がん検診受診者数及び受診率の年次推移

(単位:人)

		平成22年度 <sup>1)</sup> (2010)	23年度 ( '11)	24年度 ( '12)	25年度 ( '13)	26年度 ( '14)
胃がん	受診者数	2 469 699	2 459 339	2 430 249	2 364 411	2 324 571
	受診率 (%) <sup>2)</sup>	10.1	9.7	9.9	9.6	9.3
肺がん	受診者数	3 863 145	3 928 324	3 978 830	3 961 043	4 026 567
	受診率 (%) <sup>2)</sup>	15.7	15.4	16.2	16.0	16.1
大腸がん	受診者数	3 916 400	4 584 068	4 704 400	4 780 888	4 867 353
	受診率 (%) <sup>2)</sup>	15.5	17.6	18.7	19.0	19.2
子宮頸がん <sup>3)</sup>	受診者数	4 113 335	4 058 829	4 022 053	3 933 049	4 195 819
	受診率 (%) <sup>2)</sup>	30.1	30.6	31.2	31.1	32.0
乳がん	受診者数	2 180 706	2 188 659	2 038 273	2 072 935	2 183 873
	受診率 (%) <sup>2)</sup>	26.6	26.3	25.9	25.3	26.1

注:「がん対策推進基本計画」(平成 24 年 6 月 8 日閣議決定)に基づき、がん検診の受診率の算定対象年齢を 40 歳から 69 歳(「子宮頸がん」は 20 歳から 69 歳)までとした。平成 25 年度報告から、この対象年齢にあわせて算出するとともに、平成 24 年度以前の報告についても算出し直している。「受診者数」及び「受診率」については、23~27 頁「IV 用語の解説」参照。

1)平成 22 年度は、東日本大震災の影響により、岩手県の一部の市町村(釜石市、大槌町、宮古市、陸前高田市)、宮城県のうち仙台市以外の市町村、福島県の一部の市町村(南相馬市、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、飯館村、会津若松市)が含まれていない。

2)受診率は、対象者数等の計数が不詳の市区町村を除いた値である。

3)平成 24 年度までは「子宮がん検診」として報告されている。

### (2) がん検診受診率の分布状況

市区町村のがん検診受診率の分布をみると、がん検診受診率が「50%以上」と高い市区町村数は、「子宮頸がん」が 333(全国市区町村数に占める割合 19.2%)と最も多く、次いで「乳がん」が 281(同 16.2%)となっている。一方、がん検診受診率が「0~10%未満」と低い市区町村数は、「胃がん」が 655(同 37.7%)と最も多く、次いで「乳がん」が 406(同 23.4%)となっている。(表 9、図 3)

表 9 市区町村におけるがん検診受診率の分布状況

平成 26(2014)年度

	全国 <sup>1)</sup> 市区町村数	がん検診受診率別市区町村数					
		0~10%未満	10~20%未満	20~30%未満	30~40%未満	40~50%未満	50%以上
胃がん	1 737	655	595	309	111	42	24
肺がん	1 737	330	453	368	240	177	168
大腸がん	1 737	142	554	480	278	163	119
子宮頸がん	1 737	14	246	366	404	295	333
乳がん	1 737	406	160	306	317	192	281

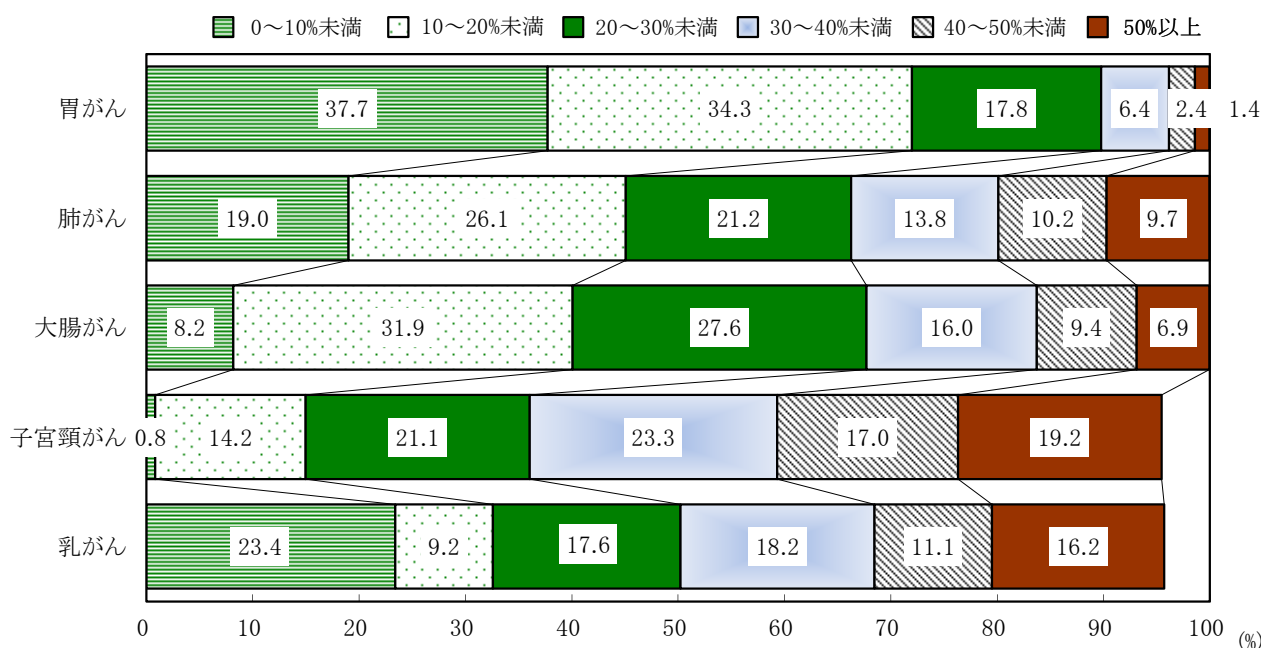
注:「がん対策推進基本計画」(平成 24 年 6 月 8 日閣議決定)に基づき、がん検診の受診率の算定対象年齢を 40 歳から 69 歳(「子宮頸がん」は 20 歳から 69 歳)までとした。

「受診率」については、23~27 頁「IV 用語の解説」参照。

1)「全国市区町村数」にはがん検診受診率が不詳の市区町村を含む。

図3 市区町村におけるがん検診受診率の分布状況

平成 26(2014)年度



注：「がん対策推進基本計画」（平成 24 年 6 月 8 日閣議決定）に基づき、がん検診の受診率の算定対象年齢を 40 歳から 69 歳（「子宮頸がん」は 20 歳から 69 歳）までとした。「受診者数」及び「受診率」については、23～27 頁「IV 用語の解説」参照。  
 なお、総数にはがん検診受診率が不詳の市区町村を含む。

(3) 平成 25 年度がん検診受診者における要精密検査の受診状況

平成 25 年度に市区町村が実施したがん検診における要精密検査者のうちがんであった者数の、がん検診受診者数に対する割合は、「胃がん」0.10%、「肺がん」0.04%、「大腸がん」0.18%、「子宮頸がん」0.07%、「乳がん」0.31%となっている（表 10）。

表 10 平成 25 年度がん検診受診者における要精密検査の受診状況<sup>1)</sup>

平成 25(2013)年度

(単位:人)

	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん
がん検診受診者数 <sup>1)</sup>	2 371 539	3 965 111	4 796 524	3 949 186	2 072 393
要精密検査者数 <sup>1)</sup>	187 794	79 735	315 111	83 405	173 602
精密検査受診率 <sup>2)</sup> (%)	79.4	78.7	65.9	70.4	84.6
がん検診受診者数に対する割合 (%)	7.92	2.01	6.57	2.11	8.38
がんであった者数 <sup>1)</sup>	2 325	1 525	8 848	2 745	6 477
がん検診受診者数に対する割合 (%)	0.10	0.04	0.18	0.07	0.31
要精密検査者数に対する割合 (%)	1.24	1.91	2.81	3.29	3.73
精密検査未受診者数 <sup>1)</sup>	17 990	6 906	52 770	9 559	9 144
精密検査未受診率 <sup>2)</sup> (%)	9.6	8.7	16.7	11.5	5.3
精密検査未把握者数 <sup>1)</sup>	20 785	10 086	54 834	15 167	17 604
精密検査未把握率 <sup>2)</sup> (%)	11.1	12.6	17.4	18.2	10.1

注：「がん対策推進基本計画」（平成 24 年 6 月 8 日閣議決定）に基づき、がん検診の受診率の算定対象年齢を 40 歳から 69 歳（「子宮頸がん」は 20 歳から 69 歳）までとした。

1) 平成 26 年度に精密検査を受診し、結果が判明した者についても含めている。

がん検診受診者数については平成 25 年度受診者を平成 26 年度報告で改めて把握したものであり、「表 8 がん検診受診者数及び受診率の年次推移」の平成 25 年度がん検診受診者数の数値とは異なる。

2) 「精密検査受診率」、「精密検査未受診率」及び「精密検査未把握率」については、23～27 頁「IV 用語の解説」参照。「精密検査未受診者数」及び「精密検査未把握者数」の計数が不詳の市区町村を除いた値である。

## 9 肝炎ウイルス検診

市区町村が実施した肝炎ウイルス検診の受診者数は、「B型肝炎ウイルス検診」919,362人、「C型肝炎ウイルス検診」917,794人となっている。

B型肝炎ウイルス検診において「陽性」と判定された者は6,817人、C型肝炎ウイルス検診において「現在、C型肝炎ウイルスに感染している可能性が高い」と判定された者は3,687人となっている。  
(表11)

肝炎ウイルスに関する健康教育の開催回数は861回、参加延人員は28,055人、健康相談の開催回数は2,966回、参加延人員は12,129人となっている(表12)。

表11 肝炎ウイルス検診の実施状況

(単位:人)

平成26(2014)年度

	B型肝炎ウイルス検診		C型肝炎ウイルス検診	
	受診者数	「陽性」と判定された者	受診者数	「現在、C型肝炎ウイルスに感染している可能性が高い」と判定された者
総数	919,362	6,817	917,794	3,687
40歳	98,081	437	98,233	148
41～44歳	74,861	399	74,833	175
45～49歳	84,685	513	84,754	244
50～54歳	80,426	524	80,430	273
55～59歳	86,259	676	86,185	312
60～64歳	136,882	1,261	136,364	439
65～69歳	169,616	1,566	168,987	661
70～74歳	104,440	933	104,001	536
75～79歳	43,517	293	43,418	347
80歳以上	40,540	215	40,534	552

注：年齢階級別の計数が不詳の市区町村があるため、総数と年齢階級別の計が一致しない。

表12 肝炎ウイルスに関する健康教育・健康相談の実施状況

平成26(2014)年度

健康教育		健康相談	
開催回数(回)	参加延人員(人)	開催回数(回)	参加延人員(人)
861	28,055	2,966	12,129